

# 第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和3年度

施策コード	511	施策	低炭素社会への転換の推進
管理事業	環境政策事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	環境政策事業
事業概要				
環境影響評価事務、環境マネジメントシステム運用、環境審議会運営、すいた環境サポーター養成、アジェンダ2.1すいた推進、地球温暖化対策新実行計画管理運用、吹田市地球温暖化新実行計画見直し				
活動実績				
(1)環境影響評価事務事業		年度	R2	R3
環境に著しい影響を及ぼすおそれのある一定規模以上の事業について、事業者自らが環境への取組を行う制度であり、その内容を学識者から成る環境影響評価審査会で審査し、持続可能なまちづくりの推進を図る。		決算額（千円）	11,701	1,261
審査会の開催回数 令和3年度 4回 令和2年度 4回 令和元年度 5回		一般財源の比率（%）	0.0	100.0
(2)環境マネジメントシステム運用事業		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
「SUITA MOTTANOCITY ACTION PLAN (SMAP)」を運用。当年度の環境管理職研修は、環境省職員による「ナッジ」に関する研修を実施した。一般職員向けの環境研修は、すいた環境教育フェスタ内のコンテンツである「吹田市×SDGs」と題して市長、大学講師、市内大学生との対談の動画視聴を研修とした。		令和3年2月に策定した「吹田市第2次地球温暖化対策新実行計画」に基づき、さらなる地球温暖化対策の推進を図る必要がある。		
(3)マイボトル用給水機設置事業		今後の実施計画の方向性・内容		
ペットボトルの削減及び熱中症対策として、市公共施設にマイボトル用給水機を整備した。 令和3年度設置箇所 28箇所（29台）		継続		
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性				

2	所管室課	環境政策室	事業名	環境啓発事業
事業概要				
環境啓発				
活動実績				
市民・事業者に環境問題について理解と協力を求め、環境に配慮したライフスタイルの確立やより良い環境づくりに向けた意識の向上を図る。		年度	R2	R3
(1)すいた環境教育フェスタ参加人数（閲覧者数）		決算額（千円）	123	289
令和3年度（ウェブ開催） 1,473人 令和2年度（ウェブ開催） 1,757人 令和元年度 602人		一般財源の比率（%）	100.0	100.0
(2)環境表彰被表彰者		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
令和3年度 1個人・6団体 令和2年度 1個人・6団体 令和元年度 1個人・11団体		市民、事業者、行政の協働により、さまざまな環境問題をテーマとした啓発イベント等を実施しているが、目に見える効果の検証が課題となっていたことから、令和元年度からはイベント来場者へのアンケートに来場前後の意識変化の質問を設けた。結果として来場者の行動変容の状況を把握することができ、効果の検証がしやすくなった。その結果をもとに、更なる内容の充実を図っていく必要がある。		
評価の視点				
※課題があるものは■				
<input type="checkbox"/> 市民ニーズ、社会的役割 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 <input type="checkbox"/> 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 持続可能性				
今後の実施計画の方向性・内容				
継続				

3	所管室課	環境政策室	事業名	環境まちづくり基金積立事業
事業概要				
環境まちづくり基金積立				
活動実績				
環境先進都市の実現に向けた環境施策の推進に係る経費を積み立てる。		年度	R2	R3
(1)令和3年度積立額		決算額（千円）	137,748	30,285
寄付金 1,809,753円		一般財源の比率（%）	99.1	94.0
森林環境譲与税執行残額 28,474,900円		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		
合計 30,284,653円		電力調達の効果額の積み立ては、令和2年度で一旦終了したが、今後は繰入計画において、基金残高が不足する見込みである場合、電力調達の効果額の1/2を上限に積み立てを行い、財源を確保する予定である。本基金を積極的に活用し、継続的かつ効果的な事業を展開することを検討する必要がある。		
(2)令和3年度末時点残高 353,334,788円		今後の実施計画の方向性・内容		
(3)令和2年度繰入金		継続		
庁舎管理事業（ESCO事業） 12,455,000円				
自然共生事業（里山デイキャンプ） 140,306円				
公園等管理事業（公園LED化） 8,830,800円				
未充当分 37,000円				
合計 21,463,106円				

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名